

ミチノクナシ

Pyrus ussuriensis Maxim.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧 I B 類

選定理由

生育地、個体数とも少ない。

分 布

本州、九州（北部）に分布する。県内ではおおい町、若狭町、越前町、池田町、勝山市、大野市で確認される。

種の特徴

高さ 15m になる落葉高木。樹皮は老木では短冊状にはがれる。長枝と短枝があり、短枝は刺状に残ることがある。葉は卵状楕円形または広卵形で、葉縁は芒状の鋭鋸歯があり、両面は軟毛、のちに無毛となる。5 月、開葉と同時に開花する。花は白色。果実は小さな球形で、褐色に熟す。

生育を脅かす要因

森林伐採、河川改修が生育を脅かす。

参考文献 池谷祐幸ほか（2003）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○					○		○						○	○	

コジキイチゴ

Rubus sumatranus Miq.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も少ないと推定されるが、カテゴリーを決めるだけの現在の情報が不足している。

分 布

本州（中部地方以南）～九州に分布する。県内ではおおい町、小浜市、若狭町、南越前町、池田町、勝山市、福井市、大野市で確認される。

種の特徴

暖地の森林の林縁～林内に生育する。茎は高さ 1m ほどになり、上部は倒れて他の植物に寄りかかることが多い。全体に腺毛。葉は 3～7 枚の小葉からなる複葉。裏面脈上には腺毛がある。茎には刺があり、長い腺毛が密生している。花期は 5～6 月。白色の花を開く。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事、自然遷移が生育を脅かす。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○			○	○						○	○	○

ユキヤナギ

Spiraea thunbergii Siebold ex Blume
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育個体数が限られ、鑑賞用の山野草としての採取により減少していると考えられるが、情報が不足している。

分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内では、おおい町、福井市、勝山市、大野市で確認される。

種の特徴

川沿いの岩の上等に生えるが、庭にも植えられる落葉低木。高さ 1～2m になり、束生する。葉は互生し無毛。春に新葉がでると同時に数個の白色の小花が枝上に連続してならび、穂状になる。

生育を脅かす要因

河川工事、園芸のための採取が生育を脅かす。

参考文献 牧野富太郎（1974）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○													○	○	○